第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

【PLAN】 事務事業の目的と	成果										総合戦略掲載	0	過疎計画掲載	0]
事 業 名	予防接種事業				事業期間	昭和	123年度 ~ -	— 年度					•		•
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業	1-1-4					所管課係		ター保健予防係
目的 (何のために実施する のか)			『まん延を予防する	ために予防接種	を行い、公衆衛生の)向上及び増進	きを図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	を通じて乗り、 ・通り、 ・通り、 ・通り、 ・通り、 ・通り、 ・通り、 ・通り、 ・通	関へ委託して実施、 自己負担額は、1,00 チンの有効利用型のは、新型のは、ためにした。 を選集した。 では、ためでは、 を選集した。 を を を を を を を を を を を を を	R・ヒブ・小児用肺炎球 いずれも接種料金は無料 の円とした。風しん第5 進するために、ま同時流 サウイルスとの同時流 F度より、新金 国コナウィ ったが、基極命でクチと みか、帯状布をワクテととす チンを選択することとす	。インフルエンザ が球菌は2,000円。 別については、集会 体検査を無料で実施 にが、アクチンの投 の助成金を勘案を の財及び任意接種対 の対及び任意接種対	・肺炎球菌についても、 とする。平成27年度より 契約に参加し全国の医 をし、抗体価の負担額を のまるの自己、国庫・ 種について、国庫・ 定期接種対象者の自己	個別接種として医師 リ、中学生以下のイン 療機関などで実施でき MRワクチンを無料で 乗料とするとともに、 にて対象者に無料で持 3負担額を2,000円とし	会を通じて市内医療フルエンザワクチンでる体制とする。実施接種する。今和2年度市外で接種した場合 を基準する。東施度ができた場合は を経する。かかりまた場合は を経する。かりまた場合は を経する。かりまた場合は で実施した。今和7
対象 (誰・何を対象として いるのか)	4種混合(ジフテリン オ・ヒブ)開始 2種混合(ジフテリモ) 小児用肺炎球磨・3歳 子宮頸がん予防ワウチ インフルエンザ・65 高齢者肺炎球菌・今和 今和フィエスによ したことがない者 MR(麻しん・風し 和37年4月2日~昭和5 年度予防接種のサビを 中学生以下の子ども	~24週までに2回、 ア・破傷風・百日 ち ない月~5歳ま不配べ。 たい月~5歳ま不配べ。 を2011 6年 でに2011 日本生に105 たい日本生でに2011 日本生に405 たい日本生の子の子の一では105 の16年度よりら、65歳等。 いり第1期:1生ま ングスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリスリ	55歳未満で内部障害1総 上の者及び60~55歳未 力者及び70歳、75歳、 生活がほとんど不可能: 第2期:小学校就学前: 男性を対象に抗体検査: 生後6ヵ月~12歳までは 支種: 1, 2回目(初) クチンを2回接種する。	~90ヵ月までに4回、 7:生後2か月~5歳ま、 5:生後2か月~5歳ま、 6:しまでに3回、 8:大村当の者に年1回、4 6:大村当の 8:大村当の 9:大村 9:大村 9:大村 9:大村 9:大村 9:大村 9:大村 9:大村	令和6年度より5種混合 でに4回、 か16年度秋より新型コークの表 の表で、これまで、丁度年 活者で、これまで、丁度年 着で、身体障碍者程度 度(今和万年度)~令 むまでは1回接種。令和 生までは1回。	ロナウイルスワク も接種したことが 変のみ101歳以上6 E1級に相当する者 ・和3年度に風しん は年度~令和6年月	チン定期接種開始 ない者に1回、 の者、60〜60歳のヒトタ で、これまで一度も接 の追加的対策として、「 度期間延長。	種(もられるのかり	伝染の恐れのあ	る疾病の発生及び	がまん延を防止する。				
事業開始時の状況 緯	己・これまでの経	改正でいた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	日本の(令和3年度時 1年4月より3年度時 2年4月よりの影響もま 2年2年1年 2025年よ種 3年25年は種 3年25年 3年3年 3年3年 3年3年 3年3年 3年3年 3年3年 3年3	点)での対象、接の の対象の対象をして の対象として あり、抗規接種化と が定差差を は23 年法律学の8 5 のが見続れたい。 ができます。 の対象を表して ができます。 はない。 はな、 はない。 はない。 はない。 はない。	種種類となっている こ、昭和37年4月2日が にいていた(、国は令和4年 いていた子宮頸がん) う。第29 条の規定に こなウイルス株に対 になっていたナウボールの大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の	。 Nら昭和54年4月 度~令和6年度 P防ワクチンの より第一号条及び 引法第20クチンで レスワクチンで	31日生まれの男性をまでの期間を延長と情報提供が再開、令 で受託事務とされてし が第27条を除く。) が開発され、引き続	対象に、風疹の抗体 した。 和4年度には、積極的 る新型コロナロ東 が適用され、運を基 が、集団接種となり か、定期接種となり	検査を行い、抗体体 対勧奨の再開と差控 ・ンに係を種を希望。 としながら、接種 としながら、接種	面の低い方を風しん えの時期に接種機 臨時接種として、 する対象者に無料で 事業を行ってきた。	感染症の流行状況や が第5期の定期接種対象 会を逃した者に対して 新型コロナウイルスワ で接種をすることとなった。任意接種 ことなった。任意接種	こキャッチアップ ごキャッチアップ プクチンの接種に り、令和3年度よ	チンを平成31年度か 対象として、接種が ついて、予防接種法 り集団接種を基本と	から3年間無料で実施 対象者の拡大が図ら 附則第7条の特例: しながら、接種体	もしてきたが、新型 れている。 規定に基づき実施

[DO]

実制	ŧ																(単位:円)
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額	1, 081, 000			1, 081, 000	223, 000			223, 000					0	1, 304, 000
			予算計上額	96, 207, 000	57, 226, 000	22, 332, 761	175, 765, 761	1, 285, 000			1, 285, 000					0	177, 050, 761
			実 績 額	139, 321, 007	102, 326, 444	46, 298, 820	287, 946, 271	1, 329, 255			1, 329, 255					0	289, 275, 526
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地 方	ī 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
1×			実績額				0				0					0	0
入	そ の	他	計画額	2, 405, 000	2, 405, 000	2, 405, 000	7, 215, 000	2, 571, 000			2, 571, 000					0	9, 786, 000
			予算計上額	3, 315, 000	2, 506, 000	2, 886, 000	8, 707, 000	2, 571, 000	2, 619, 000		5, 190, 000					0	13, 897, 000
5			実績額	4, 420, 254	3, 316, 905	2, 337, 400	10, 074, 559	12, 439, 093			12, 439, 093					0	22, 513, 652
h	一 般	財 源	計画額	34, 380, 000	32, 362, 000	32, 362, 000	99, 104, 000	37, 411, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	116, 437, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	158, 052, 000	373, 593, 000
-			予算計上額	37, 371, 000	42, 561, 000	41, 626, 000	121, 558, 000	37, 411, 000	63, 372, 000		100, 783, 000					0	222, 341, 000
た			実績額	30, 749, 151	34, 472, 225	29, 038, 556	94, 259, 932	40, 980, 279			40, 980, 279					0	135, 240, 211
車	事業費	合計		37, 866, 000	34, 767, 000	34, 767, 000	107, 400, 000	40, 205, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	119, 231, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	39, 513, 000	158, 052, 000	384, 683, 000
7			予算計上額	136, 893, 000	102, 293, 000	66, 844, 761	306, 030, 761	41, 267, 000	65, 991, 000	0	107, 258, 000	0	0	0	0	0	413, 288, 761
業			実績額	174, 490, 412	140, 115, 574	77, 674, 776	392, 280, 762	54, 748, 627	0	0	54, 748, 627	0	0	0	0	0	447, 029, 389

費の推	事業費予算の 内容	委託料 需用費 役務費 新型コロナウイ ルスワクチン接 種関連経費 種関連経費	委託料 需用費 役新型コロナウイ 後 ルスワクチン接 種関連経費	委託料 需用費 役務費 新型コロナウイ ルスワクチン接 種関連経費	⁻ ン接 ┃		
移	前年度予算と の比較 (増減理由)	増加 需用費の増加 需用費の増加 ポ型コロナウイ ルスワクチン接 種事業に伴う国 庫補助金・支出 の増加	倿 ルスワクチン接 ■ 種事業に伴う国	減額 増額 増額 帯状疱疹 新型コロナウオン接種事 ルスワクチン接 種事業等に伴う 国庫補助金の減	集開始		
	実績との比較 (増減理由)	増加 新型コロナウイル 新型コロナウイ スワクチン接種事 業に関する事業費 の増加 増加 クロット	増加:新型コロ ルナウイルスワク 事 チン分接種事業に 関する事業費の 増加	増額 新型コロナウイ ルスワクチン定 期接種化等に伴 う委託料の増			

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:実施医療機関数	指標の求め方:法定予防接種を実施している医療機関数
成果指標1(「成果」をもとに設定)		指標の求め方:【接種者数/対象者数×100】 小児の定期予防接種:BCG、4種混合、2種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、日本脳炎、MR1・2期、水痘の各接種率の平均値。 高齢者の定期予防接種:肺炎球菌、インフルエンザの各接種率。 子どものインフルエンザ:接種率。

				第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	活動指標 1 (単位/簡所)	計画値	7	7	7		7	7	7		7	7	7	7		
		計画値	球菌・インフルエンザ 40%以上、子ど ものインフルエンザ		球菌・インフルエンザ 40%以上、子ど ものインフルエンザ		上、高齢者肺炎 球菌・インフルエンザ 40%以上、子ど ものインフルエンザ	40%以上、子ど ものインフルエンザ	球菌・インフルエンザ 40%以上、子ど ものインフルエンザ		球菌・インフルエンザ 40%以上、子ど ものインフルエンザ	40%以上、子ど ものインフルエンザ	球菌・インフルエンザ	小児定期95%以上、高齢者肺炎 球菌・インフルエンサ・ 40%以上、子ど ものインフルエンサ・		
	成果指標 1 (単位/%)	実績値	96.4、四種混合 94.0、二種混合 75.2、MR1期 98.9 122.6、MR2期 98.9 5.2 で	50%以上。 小児の定期予防接種 率 94.4% [ECG 98.9、四種混合 98.8、二種混合 67.6、MR1期 94.8、MR2期 95.1 ヒプ 100.0、小児 肺炎球菌100.0、日本脳炎 88.8 ロタ 101.3 水痘 94.8 3 高齢者パルエンザ 51.1 高高舎者の発力を対する 1.1 高高・1.1 高高・1.1 高高・1.1 本の 1.1 本の 1.	50%以上。 小児の定期予防接種 率 95.7% [BCG 98.3、四種混合 114.3、二種混合 14.7、Mn1期 90.5、MR2期 92.4、Hn2期 92.5 MR2期 92.5 MR2期 92.5 MR2期 96.7 M2			50%以上。	50%以上。		50% 以上。`	50% <u>i. L</u> s	50%以上。	50%以上。		
事	事業の達成度 (活動指標をもと	に評価)				達成されている										
務	事業の成果 (成果指標をもと	に評価)				上がっている										
+	事業の効率性 (事業費に対する	成果)				上がっている										

4	事	総合評価				良好である										
į	業 平 西評価内容	総合評価の判断 理由または指標 のの実績値に関す る自己分析	小児の定期接種を維持ルい、 小高して れ高いなった。 れ高いないでは、 れ高いないでは、 がいていていたが、 がいていていたが、 がでにないでは、 がでにないが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいていたが、 がでいたが、 がったが、 はが、 はが、 はが、 はが、 はが、 はが、 はが、 は	いてでエて力早調望や、。新ス業の施10ク、、のる・の業必接いあンはのめ整すす混範型フに指しるリチ小乳種司時指を継が埋るった接医と予る方体は接口チいに従人はは児を続接に続あを昨代種師、約事が制な種ナンて基末、870 11 ス定共づて、12 に会周体で予とかとウ接はづ株2店、810 11 ス定共づて、12 にかりには、12 にきいりには、12 にかりには、12 にきいりには、12 にかりには、12 にかりには、12 にかりにがしている。	率をるンで協種きとナチは、人人人人型の最終は維ィザは力体になウンは発生の1つ金、持接の制度を10年を10年を10年を10年を10年を10年を10年を10年を10年を10年	実感識る防は全い者発し整接感と得判あ施染のの接前体るへとやえ種染しら断ると対高が種年に。の共する率症でれしとし対高が種年に。の共する率症でれしとは特種が、対立・接制で特対果る好。が意めでは、できないが、 意あ予率、て象啓種を、、策をとで、 、意あ予率、て象啓種を、、策をとで	率は高い接種率 を維持してい る。新型コロナ ワクチンが定期	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改割	n性の判断理由 素、改革の内容 5、R8、R10)	R5: 新型コロナウイルス 対策への意識の高が 表に、全体に上に、 周知活動と共に、接 の維持、とした。	きりもあるのか、 っている。引続: 接種しやすい体質	各種予防接種の き、接種対象者が 制を維持していく	しており、感染 接種率は前年に 接種できるよう ことで、接種率	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	エキノコック	ス症検診事業	ŧ		事業期間	平成	5年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施するのか)	エキノコックス症	Eの早期発見、早	期治療ができ、市見	民の健康保持に	努める。			(どのような方法で	受診しやすい体質	は特定健診にあわせ 制とする。オアシ ついての啓発を行	ス通信にチラシを	ンターで年2回実 折り込み、全戸配	施。そのうち1回 記布するとともに!	は日曜日に設定し、児童・生徒も 広報等で周知し、健診の案内と同
対象 (誰・何を対象として いるのか)	小学3年生以上で	②、5年以上検診	を受けていない市!	民。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	エキノコックス	症の一次検診で、	感染者を早期に発	見し、二次検診、	さらに治療に結び	びつけることができる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	一次検診は実施 健康まつりの終	要領の中で市町村か	「実施するものと 関隔が5年に1度で	四類感染症に指定さ : 定められており、 ごよいことから、5年	当市は19年度	まで健康まつり事業	のなかで実施して	きた。	実施要領により対象	策を講じている。			

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計	画額				0				0					0	0
			予算	算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
	道	費	計	画額				0				0					0	0
			予算	算計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計	画額				0				0					0	0
投			予算	算計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計	画額	25, 000	25, 000	25, 000	75, 000	25, 000	25, 000	25, 000	75, 000	25, 000	25, 000	25, 000	25, 000	100, 000	250, 000
₹			予算	算計上額	25, 000	25, 000	25, 000	75, 000	25, 000	,		50, 000					0	125, 000
C			実	績 額	13, 500	16, 500	17, 500	47, 500	10, 500			10, 500					0	58, 000
れ	— ş	般 財 源	計	画額	42, 000	42, 000	42, 000	126, 000	55, 000	,	55, 000	165, 000	55, 000	55, 000	55, 000	55, 000	220, 000	511, 000
_			予算	算計上額	42, 000	47, 000	47, 000	136, 000	55, 000	,		113, 000					0	249, 000
た				績 額	22, 410	30, 690	33, 480	86, 580	22, 764			22, 764					0	109, 344
事	事業	美費 合計	計	画額	67, 000	67, 000	67, 000	201, 000	80, 000	80, 000	80, 000	240, 000	80, 000	80, 000	80, 000	80, 000	320, 000	761, 000
			予算	算計上額	67, 000	72, 000	72, 000	211, 000	80, 000	83, 000	0	163, 000	0	0	0	0	0	374, 000
業			実	績 額	35, 910	47, 190	50, 980	134, 080	33, 264		0	33, 264	0	0	0	0	0	167, 344
費					委託料	委託料	委託料		委託料	委託料								
具		費予算の	,															
の		内容	′															
144																		
推					- AT	まな 似 光 体 の 以	ED AT		エナルン アッド									
移						委託料単価の増 額による増	问 額			委託料単価の増 額による増								
	前年	度予算と D比較				既による相			頭による。	既にある相								
		減理由)																
	(-6	"X-1 III /																
					受診数が少な	受診数が小な	受診数が少な		受診数が少な									
	c+ 4±		_			かったため減額			かったため減額									
	美額	との比較減理由)	3															
	(78	иж- <u>т</u> ш/																
													I					

5動指標	票 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:実施医療	寮機関数		指標の求め方:こ	エキノコックス症	検診を実施してい	いる医療機関数							
	票 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:検診受討	诊者数		指標の求め方:	食診を受診した人	数								
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計
		活動指標 1	計画値	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2 2	2	
指標	-	(単位/箇所	実績値 計画値	1 50	50	50		50	50	50		50	50	5	0 50		
12	,	成果指標 1 (単位/人)	実績値	27	33			21	L				50	J'	0		
		事業の達成原 (活動指標を					あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性 (事業費に対					変わらない										
	i	総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
务 卢	画内容 -	理がある	合評価の判断 由または指標 を は は は は は は が が が が が が が が が が が が が	ス会診の施は例実度若令イ業と 、別を、会談のの版は、例実度若令イ業と 、で、別を、会団りき受加、のてめ 、で、別を、会団りき受加、のてめ 、ので、別を、会団りき受加、のでか 、ので、ので、 、ので、 、ので、 、ので、 、ので、 、ので、 、の	ページ、での 、での ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の の 間知 を 継続 の 間知 を 継続 の 間知 を 終 の に 、 り の に り た 。 り た り た 。 り た り た り た り た り た り た	ス会診の施も例実よ干後ンとス会診の施も例実よ干後といる。 環境関切を、関し、禁止の関加、の時突線等を開かる。 はいいい でいい できない はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいい はいい はいい		ページ、での ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ りの 個知を継続年の りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。 りた。									
		今後の方向性	Ŧ	DE .			現状のまま継続	DO .				D10 .					
方l 改: (I	向性 善、 R5、	tの判断理由 改革の内容 R8、R10)		したときに検査が	ックス症対策実施 が受けられるよう ることから、現状	、毎年健診の機会	₹を確保しておく	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	一般健康診査	事業			事業期間	平成	20年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業	1-7-1					所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施するのか)	高齢者の医療の研 た健康診査等を実	≇保に関する法律 ≷施し、糖尿病等∙	に定められた者以り の生活習慣病を予[外について、医 方し、健康の保	- 療保険者が行う特定 持増進を図る。	≧健康診査、特	持定保健指導に準じ	(どのような方法で	健診でも対応す					国人病院で通年で受診できる個別
対象 (誰・何を対象として いるのか)	20歳以上の生活	5保護受給者等の	無保険者					成果 (どのような効果が 得られるのか)	生活習慣病の予	防、早期発見がで	き、医療扶助の抑	『制や早世予防につ	つながる。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	医療制度改革によ	より、平成20年度か	ら健診体制がフ	≒きく変更、40~74	歳と対象とし	た特定健診・75歳以	↓上の後期高齢者健	診等各医療保険	者が実施義務を負	うこととなった。			

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	100, 000	100, 000	100, 000	300, 000	85, 000	00,000	100, 000	270, 000	85, 000	85, 000	85, 000	85, 000	340, 000	910, 000
			予算計上額	67, 000	71, 000	69, 000	207, 000	85, 000	,		166, 000					0	373, 000
			実績額	47, 000	73, 000	72, 000	192, 000	62, 000			62, 000					0	254, 000
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
≥ ×			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	_	般 財源	計画額	50, 000			150, 000	96, 000	,	50, 000		96, 000	96, 000	96, 000	96, 000	384, 000	776, 000
4			予算計上額	83, 000	108, 000	112, 000	303, 000	96, 000	,		209, 000					0	512, 000
<i>t</i> =			実 績 額	60, 161	72, 702	20, 261	153, 124	73, 535			73, 535					0	226, 659
事	事意	業費合計		150, 000	150, 000	150, 000	450, 000	181, 000	181, 000	150, 000	512, 000	181, 000	181, 000	181, 000	181, 000	724, 000	1, 686, 000
			予算計上額	150, 000	179, 000	181, 000	510, 000	181, 000	194, 000	0	375, 000	0	0	0	0	0	885, 000
業			実績額	107, 161	145, 702	92, 261	345, 124	135, 535	0	0	135, 535	0	0	0	0	0	480, 659
費	車業	養予算の		委託料	委託料	委託料 通信運搬費		委託料 通信運搬費	委託料 通信運搬費								
O		内容															
推									<u> </u>								
移		F度予算と の比較 曽減理由)			健診委託単価の 増額による増	ほぼ同額		同額	通信運搬費の増								
	実絹(増	責との比較 曽減理由)		受診数が少な かったため減額		受診数が少なかったため減額		受診数が少なかったため減額									

		P - 8111111															
活動	指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:健診受認	诊数		指標の求め方:特	持定健診対象外 (無保険者)の受診	数							
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:メタボリッ	クシンドローム該当	者・予備群者の割合	指標の求め方:ス	「タボリックシン	ドローム該当者・	予備群者数/健診	受診者×100						
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標		20				20	20	20)	20	20	20	20		
	指標	(単位/ノ	人根框	14				15									
	惊	成果指標 (単位/9		60				50 26. 7	40	40)	30	30	30	30		
		事業の達	八根區	69. 2	56. 3	55. 6		20. 7									
			標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成 (成果指標	記果 標をもとに評価)				変わらない										
		事業の効 (事業費)]率性 に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価	i				普通である										
事務事業評価	評価内容		理由または指標	に促予を生のめ個しボも生がと後し係診保維なが継活機、別て該的活重か支、との健協が健し護管護知る・%慣で、を後携診導続の健し護管護知る・%慣で、を後携診導の・のでは、一般では、一般的では、一般のでは、一般	促予をる給の上含るかて該56 動製。受理以もい係しボは 、診むに保康の健し保護知を群。 を個る・公園の・予約 を開始の場所を別。予約 を開始を開始を開始を が構築して、 の上含るかで、 の上含るかで、 の上含るかで、 を の上さい。 の上さい。 の上が、 を の上が、 を の上が、 を の上が、 の上が、 の上が、 の上が、 の上が、 の上が、 の上が、 の上が、	に促予をる給の上含で護知診ボ人者が継あを習き事し係診はす物継。者たは働き係し受該、は前続っ解價る後、と連合統分健性と関係のといる者の解價る後、と連合統分性機質の健でと個るのは群子の経済の大学、第一、をもし制度の機で、個名のは群でか者メ、予、をもし制度で、機能ので多生防健継保、契約に乗りを動換、受理以も診保通健タ、当員の、ボ活で診続護健やを動奨、受理以も診保通健タ、当員の、ボ活で診続護健やを動奨、受理以も診保通健タ、当員の、ボ活で診続護健やを動奨、受理以も診保通健タ、当員の、ボ活で診続護健や	診い実業と歳の健は診でり診体りと機う施で同は、20、独自の施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	促予をる給の上含で護知診ボが継続。者たは働きをもいる場合の上含で護知診がすれる。 これ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	i向性				拡大										
	改善、	生の判断理 改革のP R8、R10	内容	診しやすい体制。	・ 機会を確保して となるよう、砂川 実施機関数を増や	市国保の特定健診	、基本健診と同	R8 :				R10 :					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 0 過疎計画掲載 0

事 業 名	若年者生活習	慣病予防健診	多事業		事業期間	令和:	3年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施する	している。また、 所等で健診を受け	成長期の子どもける機会のない20	の課題として、貧~39歳の者、産後	血になる子どもも 1年半を経過した	ンスなどの問題が増 5多く、健診を受け 母を含め広く若年 生活習慣病の早期	る機会のない場合に生活習慣病	記童生徒や、事業 健診を実施するこ	手段	R3年度は、市内	内医療機関で行う	個別健診にて実施	Ēo		
(誰・何を対象として	R3年度は、小学	₹5年生と受診機	歳以下の被扶養者、 会のない国保以外 &1年半以上経過し	の20~39歳以下の				成果 (どのような効果が 得られるのか)	健診結果から保信 リスクを軽減し、 る。	健指導を実施する 、生活習慣病の発	ことによって、食 症を予防する。ま	食生活やその他生活 にた自らの健康管理	舌習慣の見直しに1 里の重要性を理解!	つなげ、将来の生活習慣病発症の レ、将来の健診受診の定着化を図

事業開始時の状況・これまでの経 緯 国保に加入している20~39歳の者には、特定健診が開始された平成20年度より健診の機会を提供してきているが、社会保険の被扶養者など健診の機会がないため、会社などでの受診の機会がない方と小学5年生を対象に、R3年度より実施する。 妊娠期は妊婦健診があるが、産婦の約9割の40歳未満で健診受診の機会がなく、継続的な健康管理ができるよう、体調が安定する産後1年半を経過した母と中学2年生と対象を拡大しR6年度より実施する。

[DO]

実績

	第 7 期
0年次 実施4カ年	総合計画
(年度) 合計	合 計
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	30, 000
0	10, 000
0	0
673, 000 2, 692, 000	5, 608, 000
0	2, 105, 000
0	597, 878
673, 000 2, 692, 000	5, 638, 000
0 0	2, 115, 000
0 0	597, 878
1 1	
1 1	
1 1	
1 1	
1 1	
	0 0 0

781	来リノカ土ヤ	多・評価															
活動	動指標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:受診人数			指標の求め方:例	받診を受診した人	数								
成绩	果指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:保健指導	 算実施率		指標の求め方:伊	保健指導をうけた	者/健診受診者×1	00							
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画値	15		15		30	30	30		50	50	80	80		
	指標	(単位/人)	実績値	26	15			32	100	100		100	100	100	100		
	175	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	100 100. 0	100 80. 0	100 100. 0		100 100. 0	100	100		100	100	100	100		
		事業の達成内	, , , , , , , ,	100.0	80.0	100.0		100.0									
		(活動指標を					達成されている										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				上がっていない										
		事業の効率性					変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	総理のる		の学はハガラのに群血な足多のい病保指保と人い機外では人人関診のとは、数圧光、な偏て予健導度がへのたり、学見知し、果ボ脂、の品養ど活たや人行たき間が、など、9%が、当高養晴だり、防指を者でられば、大学員知し、果ボ脂、の品養ど活たや人行たりに診察が、のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のいいは、大学のいいは、大学のいいは、大学のは、大学のいいは、大学のいいは、大学のは、大学のいいは、大学のいは、大学のいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは	み生全を(学元防導階の炎症の3機整導しつ病保でにの方どと、 (学に1319・機能学の一次では、 がは大きないには、 で(美に1319・機能が必然には、 がは、 で(美に1319・機能が必然には、 がは、 で(美に1319・機能が必然には、 で(美に1319・機能が必然には、 で(美に1319・機能が必然には、 で(美に1319・機能が必然には、 で(美に1319・機能が要が必然にないの機能が要が必然にない、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	に、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	の(ててと動に慣をな世者つ時普た、 ・学保子生な向病伝るでは、主なある。 ・学保子生な向病伝るでしていり、 ・学に変しなり、 ・学になり、 ・大防るまな康もなある。 ・大防るまな康もなある。 ・大防るまな康もなある。 ・大防るまな康もなある。 ・大防るまな康もなある。	自己大学なが、 自己大学など、 自己大学ない、 自己大学ない、 一定大学ない、 一	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	<u> </u>				拡大										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		にも若年化がみらない学童期や若ないでいる。自身の を予防に繋がると たれた方などり	られる中、血液検 手者への健診を実 の健康状態を把握 と考え、今後は妊 スクに配慮した対	ルの変化にという。 の変のをは、 をした。 をした。 をした。 の変さ、も、した。 に期は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	受ける機会の少 栄養指導を実施 生活習慣病発 圧値の異常がみ と と と と と と に の と き と に る と り と り と り と り と り と り と り と り と り り と り と り り と う と り と り	к б :				R10 :					

平成29年度 ~ — 年度

他に関連する 基本事業

1 - 5 - 1

[PLAN]

事業性質区分

(何のために実施するのか)

事業 名 がん対策推進事業

新規・継続

を抑える。

継続

事務事業の目的と成果

建設外

砂川市がん対策推進条例の策定を機に、がんの予防と早期発見のための正しい知識の普及やがん対策に関する理解と関

心を深めるための事業を実施し、砂川市におけるがん検診の受診率向上及び、がん死亡の減少と増入するがんの医療費

建設・建設外

事業期間 第7期総合計画 の位置付け

総合戦略掲載 過疎計画掲載 × X ふれあいセンター健康増進係 所管課係 (どのような方法で (どのような方法で 実現するのか) がんに関する講演会や、がん教育(小、中学生)、がんの啓発イベントの実施。

対象 (誰・何を対象として 市民 いるのか) 成果 がん対策に関する理解と関心が深まることにより、がん予防、早期発見のための正しい知識の普及が図られ、がん検診 (どのような効果が 受診率向上につなげる。

手段

事業開始時の状況・これまでの経 がんは死亡原因の1位であり、高騰する医療費の中でもがんに対する医療費が大きく割合を占めているのが現状である。これまでもがん対策を講じてきていますが、現状の課題解決までには至っておらず、がん検診の受診率も伸び悩んでいる 状況である。平成29年4月より施行されたがん対策推進条例を機に更なるがん対策の推進を図るため、市民に対してがんの予防、早期発見のための正しい知識の普及や、がん対策に関する理解と関心を深めるための事業を実施する。

[DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
-		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額	0	0	0	0	0	0		0					0	0
⇒		予算計上額	0	0	0	0	0	0		0					0	0
		実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
れ	一般財源	計画額	0	0	0	0	0	0		0					0	0
<i>t</i> =		予算計上額	0	0	0	0	0	0		0					0	0
/~		実績額	0	0	0	0	0			0					0	0
事	事業費合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-414-		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費																
	事業費予算の															
の	内容															
推																
			内部講師による	内部講師による	内部講師による		内部講師による	内部講師による								
移	前年度予算と		事業実施のため	事業実施のため	事業実施のため		事業実施のため	事業実施のため								
	の比較		財源なし	財源なし	財源なし		財源なし	財源なし								
	(増減理由)															
	実績との比較															
	(増減理由)															

787	来リノカ上で	多・評価															
活動	動指標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:事業参加	叩者の人数		指標の求め方:請	講演会、健康教育	、啓発イベントの	参加人数							
成县	果指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:がん検討	诊受診率		指標の求め方:胃	引がん、肺がん、	大腸がん、乳がん	、子宮がん検診	受診率の平均(対	象は全住民)					
					第 1 次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	300	300	300		300	300	300		300	300	300			
	指	(単位/人)	実績値	144	156	89		106									
	標	成果指標 1	計画値	15.0	15. 0	15. 0		16.0	16.0	16. 0		17. 0	17. 0	18. 0	18. 0		
	-	(単位/%)	実績値	11. 48	11. 12	10. 36		10. 72									
		事業の達成度(活動指標を					あまり達成されていない										
		事業の成果(成果指標を					あまり上がってい ない										
		事業の効率性					あまり上がってい ない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の実	評価の判断 または指標 績値に関す 己分析	学校た新ルいのもまめが家恵慮で慣教り実今頃の普機んをやまった。 これがおりません はいかに なうを学しもと いまが考実い校がと、なうを学しとを いまが考実い校が学がく防保校に子がいあ通受で は、 は、 は、 は、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	少診口染りよた勧きどに今頃の本では、イ影2少様を引ゅがの事である。本では、イ影2少様を引ゅがの郵便のある。ないでは、イ影2少様をするが、大いのでは、かいのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、かいのでは、かいのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは	自依校た依めてへわとた診乳がン診しボが節年年奨んにす向く た焼めてへわとた診乳がン診しボが節年年奨んにす向く からに から がり から	活指悩新ル童少大れ本でな学にいけこ評通動構ん型ス・にきる人最疾童つ知ると価と判権といコ際生よい。のも病期い識必かと判断をおった。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	自が校中頼数実が手齢者真きしの率たはんの券診持ク受節令やのそ関で知い校中頼数実が手齢者真きしの率にはんの券診持つ受節令を診り、一般の見よ少勧目受、を容指受加面乳がポたをが外迷よ診診をはのいい成検干の成宮ク用例いが齢未受実々を診り、一般の見よ少勧目受、を容指受加面乳がポたをが外迷よ診診施な通を、一次の見よ少勧目受、を容指受加面乳がポたをが外迷よ診診施な通を、一般の見よ少勧目受、を容指受加面乳がポたをが外迷よ診診施な通を、一般の見よ少勧目受、を容指受加面乳がポたをが外迷よ診診施な通を、一般の見より勧目を表し、一般のでは、一般	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	Ė .				手段の見直し										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		ら、市内の小学村 ・ 市内の小の知り ・ 下のためのかの知り ・ でいます。 ・ でい。 ・ でいます。 ・ でい。 ・ でい。 ・ でい。 ・ でい。 ・ でい。 ・ でい。 ・ でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。	交・のでない。 で、のででいるでは、 で、のででいるでいるでいるでいるでいるでいるでいる。 でいるでいるでいるでいるでいるでいるでいる。 でいるでいるでいるでいるでいるでいる。 でいるでいるでいるでいるでいるでいる。 でいるではいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるではいるでは、 でいるでは とっと。 でいるでは とっと。 でいるでは とっと。 でいるでは とっと。 でいると でいると でいると でいると でい。 でいると でいると でいる でいると でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	病院 院 院 に が の に が の に が の に が の に が の に が の に が の に が が に の が に の が が に の が が に の が が に の が の の の の の の の の の の の の の	とを事り及受繋わな、続にる齢は伝。にないががしてるのでいた。このではいいできないできないできないできないできないできない。	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 × 事業 名がん検診事業 — 年度 ~ — 年度 事業期間 第7期総合計画 他に関連する 新規・継続 1 - 5 - 1事業性質区分 継続 建設・建設外 建設外 所管課係 ふれあいセンター健康増進係 の位置付け 基本事業 集団検診として、対がん協会には胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸部がん検診、厚生連には胃・肺・大腸・前立腺がん検診を委 託し、ふれあいセンターで実施する。受診者の利便性を考え、特定健康診査と同時実施する他、国保以外の者が受診できるよう、 各種がんの早期発見・早期治療により、市民の健康の保持増進・早世予防を図る。 (何のために実施するのか) 月、さらに対がん協会の女性のためのバスツアー検診では、5つのがん検診すべてが同時に受けられる体制とする。乳がん・子宮 頸部がんの無料クーポン対象者は市外の医療機関でも実施できる体制としている。 胃・肺・大腸がん検診は40歳以上の市民。 対象 成果 子宮頸がん検診は20歳以上の女性市民。 (誰・何を対象として (どのような効果が 得られるのか) 乳がん検診は30歳以上の女性市民。 いるのか) 前立腺がん検診は50~79歳の男性市民。 従来は、老人保健法により国や道の補助を受け実施してきた事業であるが、平成10年に一般財源化され市町村単独事業として実施している。 平成20年度からは、医療制度改革により健康増進法に基づく努力義務事業に位置付けられる。 各種がん検診に関する研究から、がん検診実施のための指針が示されており、平成17年度には乳がんのマンモグラフィ検査導入や乳がん・子宮頸がんの検診対象年齢、検診間隔の見直しが図られた。 事業開始時の状況・これまでの経 | 合性かん検診に関する場所があり、これまでの経 | 平成17年度の行革で、自己負担額の負直しを行っている。

平成21~24年度女性特有のがん検診推進事業、平成23年度より働く世代の大腸がん検診推進事業を実施、平成25年度は働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業が追加された。

平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業で、補助事業が縮小されたため、市の独自施策として、乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券配布事業を開始した。 平成30年度より、後期高齢者広域連合のすこやか推進事業廃止された。

[DO]

実績

						第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第3	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額	214, 000	214, 000	214, 000	642, 000	223, 000	223, 000	223, 000	669, 000	223, 000	223, 000	223, 000	223, 000	892, 000	2, 203, 000
			_	予算計上額	214, 000	232, 000	230, 000	676, 000	223, 000	237, 000		460, 000					0	1, 136, 000
			-10	実績額	244, 000	214, 000	236, 000	694, 000	236, 000			236, 000					0	930, 000
	直		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
			Peter	実績額				0				0					0	0
投	地	方	賃_	計画額				0				0					0	0
٠,			_	予算計上額				0				0					0	0
入	7		/th	実績額	4 447 000	4 447 000	4 447 000	0	0 775 000	0 775 000	0 775 000	0	0 775 000	0 775 000	0 775 000	0 775 000	0	0
さ	7	の	他_	計画額	4, 147, 000	4, 147, 000	4, 147, 000	12, 441, 000	3, 775, 000 3, 775, 000	3, 775, 000	3, 775, 000	11, 325, 000	3, 775, 000	3, 775, 000	3, 775, 000	3, 775, 000	15, 100, 000	38, 866, 000
			_		4, 147, 000	4, 145, 000	3, 859, 000	12, 151, 000	2, 998, 850	3, 098, 000		6, 873, 000					0	19, 024, 000
れ	<u> </u>	段 財	洒	実績額 計画額	3, 630, 950	3, 247, 550		9, 946, 700	13, 376, 000	10 070 000	12 270 000	2, 998, 850	12 270 000	12 270 000	10 070 000	12 270 000	52 504 000	12, 945, 550
<i>t</i> =	- ,	ゼ 川	源_	計	12, 410, 000 12, 410, 000	12, 410, 000 13, 576, 000	12, 410, 000 13, 151, 000	37, 230, 000 39, 137, 000	13, 376, 000	13, 376, 000 12, 964, 000	13, 376, 000	40, 128, 000	13, 376, 000	13, 376, 000	13, 376, 000	13, 376, 000	53, 504, 000	130, 862, 000
, -			_	実 績 額	12, 410, 000	13, 576, 000		39, 137, 000	10, 807, 872	12, 964, 000		26, 340, 000 10, 807, 872					0	65, 477, 000 42, 660, 550
事	車 类	養合	-±1	計画額	16, 771, 000	16, 771, 000	16, 771, 000	50, 313, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	52, 122, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	69, 496, 000	171, 931, 000
業	尹 未	ラロ	Ē	予算計上額	16, 771, 000	17, 953, 000	17, 240, 000	51, 964, 000	17, 374, 000	16, 299, 000	17, 374, 000	33, 673, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	17, 374, 000	09, 490, 000	85, 637, 000
*				実 績 額	14, 064, 070	14, 408, 915	14, 020, 393	42, 493, 378	14, 042, 722	16, 299, 000	0	14, 042, 722	0	0	0	0	0	56, 536, 100
費				天 棋 俄		,,	委託料	42, 493, 370	委託料	委託料	U	14, 042, 722	U	U	U	U	U	50, 550, 100
の推		費予算 内容	ĬΟ		印刷製本費 通信運搬費	印刷製本費 通信運搬費	可刷製本費 通信運搬費 消耗品		印刷製本費	印刷製本費 通信運搬費 消耗品								
移	0	度予算 の比較 減理由					合わせ健診委託 料を減額。		検診日増設のた め増額。	委託料単価は増額だが、前年度の受診数に合わせて女性のためのがん検診事業は増、がん対策事業は滅で全体的には減額。								
		との比 減理由			かったため減額				受診数が見込み より少なかった ため減。									

活動	指標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:勧奨人	数 (延)		指標の求め方:名	各がん検診の勧奨	通知を出した人数	Ţ							
成果	指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:各がん	倹診の受診率		指標の求め方:う	受診数/対象者×1	00 (受診率算定に	あたっては肺・フ	大腸は40~69;	歳、胃は50~6	9歳、子宮頸がん	検診は20~69	9歳女性、乳がん枝	食診は40~69	歳女性を対象とす
						3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年計			第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	(3年度) 4,000	(4年度) 4,000	(5年度) 4,000		4,000	(7年度)	(8年度) 4,000	п п	(9年度)	(10年度) 4,000	(11年度) 4,000	(12年度) 4,000	п п	
		(単位/人)	実績値	4, 633	3, 104	3, 910		5, 441							·		
				胃13%・肺 9.5%・大腸	胃13.5%・肺 10%・大腸	胃14%・肺 10.5%・大腸		胃14.5%.・肺 11%・大腸	胃15%・肺 11.5%・大腸	胃15.5%・肺 12%・大腸		胃16%・肺 12.5%・大腸		胃17%・肺 13.5%・大腸	胃17.5%・肺 14%・大腸		
			計画値	10%	10.5%	11%		11.5% 子宮13.5%・乳	12%	12.5%		13%	13.5%	14%	14.5%		
	指標		ļ	子宮12%・乳 23%	子宮12.5%・乳 23.5%	子呂13%・孔 24%		24. 5%	子呂134%・乳 25%	子宮14.5%・乳 25.5%		子宮15%・乳 26%	子宮15.5%・乳 26.5%	子宮16%・乳 27%	子宮16.5%・乳 27.5%		
	1280	成果指標 1 (単位/%)		胃 8.8% 肺 7.8%	胃:8.5%	胃:7.1%		胃:6.1%									
			実績値	大腸 8.7% 子宮 12.9%	肺:7.1% 大腸:7.6%	肺:6.5% 大腸:7.4%		肺:6.2% 大腸:7.4%									
				乳 19.2%	子宮:12.6% 乳:19.8%	子宮:11.4% 乳:19.4%		子宮:12.9% 乳:21.0%									
		主类の生 よけ			70.10.070	76 . 10. 170		10 . 2									
		事業の達成原 (活動指標を				(暫定値)	あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	もとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性					変わらない										
事		総合評価					普通である										
				自己分析:	自己分析: 子宮がん検診の	自己分析: 無料クーポンを使	判断理由: 死亡率減少効果	自己分析: 無料クーポンを	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
務				計画値に達成し	双头索斗司本法	田した到がん及び	18 to 7 1.1.1 do do										
				たが、その他のがん検診におい	その他のがん検	例年同様の受診率 であるが、その他	かめるといわれんのものもできない。 ののものではいかれる。 ののではいかれた。 のではいかが、 のではいが、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	例年同様の受診 率であるが、そ									
事				成できていない	診においては計 画値を達成でき	のがん検診は低迷 している。胃がん	も頭打ちの状況であるが、がん	の他のがん検診 は低迷してい									
alle.				ため、コロナ禍 であっても受診	ていない。継続 的にがん検診を	■や大腸がん検診に	快砂により母牛	る。胃がんや大									
業	評価			の必要性を伝	受診していた人	で内視鏡検査を	されていること	医療機関で内視									
評	内容			登目につかげ ら		なくなく、職場の	しては普通と判	健診を実施して いる人もおり、									
	#	総合理由	評価の判断または指標	れるよう周知し ていく必要があ	診を控えたまま	実施している方もおり、そのような	断した。	そのような場合は受診率に反映									
価		の実	績値に関す	ত .	であると考えら れる。定期的な	場合は受診率に反		されてない。未									
		⊘ E	己分析		がん検診受診の必要性を伝え、	映されてないため厳しい状況であ		受診者に受診を促すため、様々									
					がんの早期発見	る。未受診者に受診を促すため、勧		な機会や媒体 (日程表、ポス									
					よう周知してい	奨チラシの内容を 工夫し、定期的な		ター、リーフ レット等)を通									
					く必要がある。	がん検診受診の必 要性を伝え、がん		じてがん検診受 診の必要性を伝									
						の早期発見につな げられるよう周知		えていく。									
						していく。											
	今後の方向性						現状のまま継続										
	7 K 00 77 15 12				■ 場・子宮・乳がん いるがん検診であ			R8 :				R10 :					
	方向性の判断理由			る。がんの場合、	一次予防は生活	習慣の改善、禁煙	・禁酒、ウイル										
	万同性の判断埋田 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			わけではなく、「	などが推奨されて 早期発見・早期治	療が重要になるこ	とから、検診の										
				受診率向上に向いながら継続してい	ナ、検診体制や予 いく。	約方法、勧奨方法	について検討し										
												1					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	ピロリ菌検査	等助成事業			事業期間	平成29:	年度 ~ —	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業			-	-		所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施するのか)	慢性胃炎、胃・†する。特に感染し	├二指腸潰瘍や胃 レて間もない中学	がんの原因である 生で除菌すること	ピロリ菌を早期に でより確実な胃か	- に除去することで、 バん予防につなげて	ピロリ菌による いく。	る胃の病気を予防	手段 (どのような方法で 実現するのか)	尿中抗体検査によ 菌治療薬による治	よる一次検査及び. 台療と除菌判定の:	・一次検査陽性者 ための尿素呼気検	に尿素呼気検査に 査を実施する。	こよる二次検査を罰	実施する。二次検査陽性者には除
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市に在住する	る、中学2年生の	生徒のうち検査を	希望し、本人と係	保護者が同意した者	1 o		成果 (どのような効果が 得られるのか)	感染して間もない	ハ中学生で除菌す	ることで、胃がん	予防効果がより硝	笙実になる。	
事業開始時の状況緯	・これまでの経	H29年4月から砂 う。	>川市がん対策推進	条例が施行され、	その中でがん予覧	方の推進が謳わ	れている。比較的	死亡の多い胃がんに	こついては、原因	となるピロリ菌対	策が有効といわれ	たおり、最も予	 防効果の高い中学	生を対象に検査と除菌治療を行

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	· 画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	第 7 期総合計画合計
	_	***	. I = 1 :	e	(3年度)	(4年度)	(5年度)		(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	Tā at	H HI
	国	負		画額				0				0					0	0
				計上額				0				0					0	0
	100			續額 一				0				0					0	0
	直	質		画額				0				0					0	0
				計上額				0				0					0	0
				績額				0				0					0	0
	地	方 債		画額				0				0					0	0
投				計上額				0				0					0	0
2	_			續額 一				0				0					0	0
	そ	の他		画額				0				0					0	0
さ				計上額				0				0					0	0
	<u> </u>			績 額				0				0					0	0
れ	— A	段 財 源		画額	214, 000		214, 000		205, 000	200,000	205, 000	615, 000	205, 000	205, 000	205, 000	205, 000	820, 000	2, 077, 000
te				計上額	214, 000		234, 000		205, 000	,		395, 000					0	1, 075, 000
				績 額	150, 378		149, 588		139, 882			139, 882					0	584, 186
事	事業	費合計		画額	214, 000		214, 000	642, 000	205, 000	200,000	205, 000	615, 000	205, 000	205, 000	205, 000	205, 000	820, 000	2, 077, 000
-Alle.				計上額	214, 000		234, 000	680, 000	205, 000	190, 000	0	395, 000	0	0	0	0	0	1, 075, 000
業			実	績 額	150, 378		149, 588	444, 304			0	139, 882	0	0	0	0	0	584, 186
費の推	事業	費予算 <i>の</i> 内容			印刷製本費 通信運搬費	消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 委託料	消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 委託料		消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 委託料	消耗品費 印刷製本費 通信運搬費 委託料								
移	前年)	度予算と)比較 減理由)			合わせて減額	前年度実績に合わせて、1次・2 次検査の委託料 の増と除菌委託 料の増。	合わせて委託料 の減。勧奨通知 の通信運搬費の 増。		増。昨年度の実 績と対象数の減 少に合わせて検 診委託料を減。	昨年度の実績と 対象数の減少に 合わせて検診委 託料を減。								
		との比較 減理由)	ξ		と増加したが、 陽性者が少な	受診率は78.2% と減少し、陽性 者も少なかった ため減。	より少なかった		受診数、陽性者 数ともに見込み より少なかった ため減。									

1	旨標の 指	移・	・評価															
3	舌動指標	₹1 ((「手段」をもと	に設定)	指標名:ピロリ	菌検査受診率		指標の求め方:核	查受診者/中学:	2年生×1 <u>00</u>								
J	戊果指 核	₹1 ((「成果」をもと	に設定)	指標名:ピロリ	菌検査の除菌率		指標の求め方: 隙	≹菌した者/ピロリ	J菌陽性者×100								
I						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	+画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指		5動指標 1 (単位/%)	計画値実積値	80. 0 83. 7	80. 0 78. 2	80. 0 78. 7		80. 0 77. 1	80.0	80.0		80.0	80. 0	80. 0	80.0		
	標	月	大果指標 1	計画値	100. 0	100.0	100. 0		100.0	100.0	100.0		100.0	100. 0	100. 0	100. 0		
		_	(単位/%)	実績値	100.0	100.0	100. 0		100. 0									
		(事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		()	事業の成果 成果指標をも	とに評価)				変わらない										
			事業の効率性 事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
		総	8合評価					普通である										
	事務事業評価	6 9	理由自	平価の判断標 をはに関す	要い、孫た、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	行される。 では78.2%と計画により、 では78.2%というでは78.2%というでは78.2%というで次後で次後で次後で次後で次後では、一年は4.3%をでする。 では4.3次集団の必要で変した性全を強要ないがたた要でである。 は78.2%である。 は79.2%	を78.がすか陽灰人要でいた性の診よいあ来をやか解していた直と、は、上面位と、は、たの1を子での未記をで次、1時間では、上面にと、上面位と、は、1年間で	除菌のため に受砂でき 通と判 ができ 通と判 が に の た で 。	診勧奨を行い、値 受いは計画を次し、 のできた。者4.8% で 査陽性 24.8%)な	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		속	後の方向性					現状のまま継続										
		1 BC 0773 1-3 1-2			R5: 一次検査未受診	者には1~2回の勧	- 奨を行い、80%前	「後の受診率を維	R8 :				R10 :					
	改	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			持している。感	染して間もない中	学生で、勝ずること も、今後も勧奨を も、今後も勧奨を	とでより確実な										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	食生活改善	F及事業			事業期間	平成	4年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業	1-2-1				-	所管課係	ふれあいセンター保健予防係
目的 (何のために実施するのか)	生活習慣病が増加 いる食生活改善 る。	加する現代におい 推進員が、積極的	て、予防の要であ かつ効果的な活動	る食生活についてが展開できるよう	- こ、食生活改善普及 う支援することで、	な活動をボラン 市民の健康の	・ティアで実践して)保持増進が図られ	7.10	子の料理教室」「お	母さんのための料理 報や砂川市の健康調	型教室」「地区伝達講 果題の提供、スキル	習会」などの事業を アップのための研	企画・実施する際 修会など組織育成に	協議会主催の「男の料理教室」「親との助言・指導を行なうとともに、健 に向け支援しながら、市民とともに食ける。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民及び、食生活	舌改善推進員(平	成4年から不定期で	で市が養成してお	り、平成30年度に	は第7期の養成	(講座を開催)	成果 (どのような効果が 得られるのか)	生活習慣病が増加 及活動を積極的か	ロする現代におい [、] いつ効果的に展開	て、予防の要であ していくことで、	る食生活について 市民の食への関心	、市民により身i かを高めるとともに	近な地域住民組織が食生活改善普 こ、健康の保持増進が図られる。
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経							室等食生活改善普 が追加され現在の複						補助の見直しや研修旅行に係る こ。

[DO]

実績

						第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	隻		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道	費		計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方 億	_ ان	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
_				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の ft		計画額			200, 000	200, 000				0		200, 000			200, 000	400, 000
さ				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
れ	-	般 財 派	-	計画額	243, 000	243, 000	,	779, 000	243, 000	,	243, 000		243, 000	293, 000	243, 000	243, 000	1, 022, 000	2, 530, 000
た				予算計上額	243, 000	243, 000	243, 000	729, 000	243, 000	,		486, 000					0	1, 215, 000
12				実 績 額	101, 000	243, 000	243, 000	587, 000	243, 000			243, 000					0	830, 000
事	事	業費合計		計画額	243, 000	243, 000	493, 000	979, 000	243, 000	243, 000	243, 000	729, 000	243, 000	493, 000	243, 000	243, 000	1, 222, 000	2, 930, 000
				予算計上額	243, 000	243, 000	243, 000	729, 000	243, 000	243, 000	0	486, 000	0	0	0	0	0	1, 215, 000
業				実 績 額	101, 000	243, 000	243, 000	587, 000	243, 000	0	0	243, 000	0	0	0	0	0	830, 000
費の推	事業	業費予算 <i>0</i> 内容	ח		食生活改善協議 会補助金	食生活改善協議 会補助金	食生活改善協議 会補助金		食生活改善協議会補助金	食生活改善協議 会補助金								
推	_		-		同額	同額	同額		同額	同額								
移		手度予算と の比較 曽減理由)	브		IP) tirk	IV ix	14 快		(P) 15R	म्या (म)								
		責との比朝 曽減理由)			減額 新型コロナウイ ルス感染拡大に よる事業の中 止・縮小	増減なし	増減なし		増減なし									

動指	標 1	(「手段」をもる	とに設定)	指標名:協議会注	舌動実施回数					主活動・ボランラ	ーィア活動など推	進員参加の事業回	数				
果指	標 1	(「成果」をもる	とに設定)	指標名:参加延。	人数		指標の求め方: 4	各種事業の参加延	人数								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画				3次実施4力年計			第 7
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
Τ,	4E.	活動指標 1 (単位/回)	計画値実績値	50 32	50 44	50 39		52 40		52		54	54	55	55		
	指標	成果指標 1	計画値	1, 300	1, 300	1, 300		1, 350	1, 350	1, 350		1, 400	1, 400	1, 500	1, 500		
H		(単位/人) 事業の達成度	実績値	252	314	321	ほぼ達成されている	328									
		(活動指標をも					少し上がっている										
		(成果指標をも 事業の効率性															
		(事業費に対す 総合評価					少し上がっている 普通である										
Í	評価内容	理由の実	または指標はに関す己分析	えて返た食しコ集難ど方くこ継市ふ自を援、	今でピ効啓で特会活の師を講人る健高年蓄の果発き定会動権を会演の水語を定場、一般で発でして、一般で発で発で場で、一般で発で発で、一般で発で発で場で、一般で発で、一般で発し、一般で発し、一般で発し、一般で発し、一般で発し、一般で表し、一般で表し、一般で表し、一般で表し、一般で表し、一般で表し、一般に表し、一般など、一般に表し、	規たのたスに法ら進り調た健会活迎康で出制に幅。夕応を、員、理。診で動力表課取来制に幅。夕応を、員、理。診で動力に、題りてとっている。というでは、題が広び度体学を、果育目に継むる、まな度体学を、果育目に継むる、まなりでは、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり	よや自在な健をた食とま民健のう経を活動事業に織を、守し の対が分すと、他して、多様を、手に続けて、なりをは、して、の対が分すとれやした、 がいればした。 は、のがが分すとれやした。 は、のがが分すとれやした。 は、のがが分すとれやした。 は、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、	進り理またしん啓は康血つ着診食で載ト員自実た学自伝発・課狂い目の育の、達学の節会研市動川で減引、明動シ康者は一ていまでを讃拝と市あ返さ特会やピポリーのの、達にない。といい、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののでは、ののでは、のでは、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
改	、善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		織活動の在り方だきた。 令和4年度は、う等、 令発活動を行う等である。 を守るためる大きである。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	・ コロナ禍によるを模索しながら、 れまで蓄積したし 活動の方法を 路 ホーミック はいまない はい はいまない はい	地域の健康を守る いシピの活用や学なおし、チャレン えな体験である。 このでは、 このには、 このにはは、 このにはは、 このにはは、 このにはは、 このにはは、 このにはは、 このにはは、 このにはは、	支援を計画して 習効果を地盤に啓 ジレてきてい 「自分の手で健康 解決して活動方法	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事業性質区分

以朱					総合製船拘製	^	迴咪計凹拘蚁	*	l
自殺対策推進事業	事業期間	令和元年度 ~ — 年	年度						
新規・継続 新規(掲載) 建設・建設外 建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1 他に関連する 基本事業		 -			所管課係	ふれあいセンタ	z 一保健予防信

目的
(何のために実施する のか)
対象
(誰・何を対象として いるのか)
市民、市内事業所、関係機関等

事業開始時の状況・これまでの経 緯

全国の自殺者の推移は、平成21年の3万3千人をピークに8年連続減少となっているが、働き盛り世代の50代男性での自殺死亡割合が高く推移している。砂川市でも、自殺者数は減少傾向にあるも、年間2~3人が無図から尊い命を絶つ状態がある。自殺対策基本法の改正により、市町村に自殺対策計画の策定が義務付けられ、平成31年3月に策定された。市民一人一人が心の健康について正しい知識をもち、本人が体調の変化に気づいたり相談をするなどのセルフケアカの向上や、周囲の者が早期に変化に気づくなど、早期の対応や相談行動を起こさせることで自殺を食い止められるよう、普及啓発事業を推進していくため事業化とした。

[DO]

実績

		第1次実施	五3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
	第1年次(3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費 計画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
道費計画額		30, 000	100, 000	130, 000				0					0	130, 000
予算計上額		0	0	0				0					0	0
実績を		0		0				0					0	0
地 方 債 計 画 名				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績を				0				0					0	0
入その他計画客	頁			0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 積 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画 額		30, 000	100, 000	130, 000		60, 000	60, 000	120, 000	150, 000	60, 000	60, 000	60, 000	330, 000	580, 000
予算計上額		0	0	0	0	0		0					0	0
た実績を	A	0		0	0			0					0	0
事 事業費合計 計 画 額		60, 000	200, 000	260, 000	0	60, 000	60, 000	120, 000	150, 000	60, 000	60, 000	60, 000	330, 000	710, 000
予算計上額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業実績を		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費	計上なし	計上なし	計上なし		計上なし	計上なし								
事業費予算の														
の「内容」														
+#-														
推		増減なし	増減なし		増減なし	増減なし								
移业工工工工	増減なし	培滅なし	増減なし		増減なし	増減なし								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	経費を伴う事業	経費を伴う事業	経費を伴う事業		経費を伴う事業									
実績との比較	の予定がないた	の予定がないた	の予定がないた		の予定がないた									
実績との比較 (増減理由)	め	め	Ø		Ø)									
		1			1									

Ħ	旨標の推	移・酢	平価															
Ä	5動指標	1 ([手段」をもとに	こ設定)	指標名:会議や研	研修会の開催回数		指標の求め方: 関	係機関との会議	や研修会を開催し	た回数							
Æ	 文果指標	1 ([成果」をもとに	に設定)	指標名:砂川市の	の自殺死亡率		指標の求め方:砂	沙川市の人口10万	人当たり自殺死亡	率(警察庁自殺組	流計)						
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指		カ指標 1 ☑位/回)	計画値実績値	<u>1</u> 0	1 0	1		1 2	1	1		1	1	1	1		
	標		指標 1	計画値	15. 0		{		13. 0	13. 0	13.0		11.0	11.0	11.0	11.0		
		_	位/%) きの達成度	実績値	6. 06	12. 4	37. 7		32. 2									
		(活	動指標をもと	とに評価)				達成されていない										
		(成	はの成果 果指標をもと	とに評価)				変わらない										
			の効率性 業費に対する	る成果)				変わらない										
		総合	評価					普通である										
	事務事業評価		理由ま	価の判断標 たは指標す 分析	で向定るウた所会い通健援に関支か自景がめ健策も市で向定るウた所会い通健援に関支か自景がめ健策である。であ自新ル、催研保、づ行じ情共には複み市動完で体を自動が、化研保、づ行じ情共に複々の結はやお名コ拡内会会活こり、関交をる会なう自みでな近い、が口人保護は動ろ、必係換は。的要た、できなが、大力のでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	市はたはは和てる会み定結はし健分ろり健いしてもやりしの12。、低34増。的、的でな、康との、康、、い、道、7の12。、低34増。的、的でな、康との、康、い、道、7の共策であ事値が比て者とへ禁もしなが、70と等を全く保存を必ずもであれて者とへ禁もしなが、70と等を全く保存を必ずした。12年2月2日では終めでのかいるこくしを活行後健を継要であり令べ、社 限完でかの部こ て行用つ 解図続が	19.88、市場では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	いは健分ろり健いし必コ停内共でけしあっ、 康との、康、 要コ滞保有る、てると全繋で康援談報発あ禍で所のう策く市健にし健支相広密がナし健等よ対い。 市機にし健支相広密がナし健等よ対い。 からいる いっぱ かいしゅう かいしゅう いっぱい かいしゅう いっぱい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かい	18.812 代表では、18.812 代表では、18.812 代表では、18.812 代表では、18.812 代表では、19.812 では、19.812 では、19.81	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後	の方向性					手段の見直し										
	改善	1、改革	判断理由 革の内容 . R10)		殺者や北海道では は社会的背景とれ ないでは でして 健康の でいるが でいるが 大有等の場をも 大有等の場をも	・ 全体的に減速のに減速のに減速のに減速のを表すの自然の苦へのに減速のを表へのではない。 健全な健性線として健康を表しませい。 よっし 動断 した しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はい はい しょう はい	殺者が目立ち始め 定的な対るで完結 康に繋がる。広会と 等を行いしている。 り停滞を継続して 、対策を継続して	ている。自殺者 できるものでは して、こころの 活用し、啓発を 内保健所へ実態	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0 0 事業 名 健康ポイント事業 令和元年度 ~ 一 年度 事業期間 第7期総合計画 の位置付け 他に関連する 基本事業 事業性質区分 新規・継続 建設外 1 - 5 - 1所管課係 ふれあいセンター健康増進係 新規(掲載) 建設・建設外 健康診査、がん検診(市が実施する健診に準じた他保険者による健診を含む)、健康に関する講演会、その他市が主催する健康づくりに関する事業に参加した者に、健康ポイントを付与し、一定のポイントが貯まった場合に特典として事業に還元できるような無料券や商品券等と交換する。事業の実施については、教育委員会、市立病院、商工会護所等との連携を図る。 |特定健診やがん検診等の受診率向上や肥満予防のための運動習慣の確立のため、市民の自主的な健康づくり活動にポイ (何のために実施する (どのような方法で ントを付与し、健康に対する意識の向上と健康の保持増進を図る。 元年度特典:「商品券」と「健(検)診クーポン券(1,000円分)」か「総合体育館・海洋センター無料利用券(10回分)」。2 実現するのか) 年度は、減塩食品セットを追加。 成果 健康意識が向上することにより、疾病予防を図ることができる。また、すでに健康につながる取組を行っている市民に (誰・何を対象として 20歳以上の市民 (どのような効果が 対するインセンティブともなり、健康づくりに対するさらなる意識向上につながる。 いるのか) 得られるのか)

事業開始時の状況・これまでの経 | 北海道健康マイレージ事業に協働していたが、令和元年度に砂川市独自の事業として開始した。健康診断や各種がん検診などの受診率向上、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけづくりを目的とし、事業実施にあたり市内医療機関、 商工会議所等と連携を図り実施している。

[DO]

実績

					第 1 次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
	\#	1881	実績額				0				0					0	0
	迫	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
	41h	+ 	実績額 計画額				0				0					0	0
	삔	方 債	予算計上額				0	-			0					0	0
投		-	実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
		0)	予算計上額				0				0					0	0
\$		-	実績額				0				0					0	0
h	— 船	り 財 源	計画額	1, 275, 000	1, 275, 000	1, 275, 000	3, 825, 000	991, 000	991, 000	991, 000	2, 973, 000	991, 000	991, 000	991, 000	991, 000	3, 964, 000	10, 762, 000
			予算計上額	1, 275, 000	1, 275, 000	986, 000	3, 536, 000	991, 000	1, 623, 000	,	2, 614, 000	,	,	,	,	0	6, 150, 000
た			実績額	758, 525	803, 356	794, 774	2, 356, 655	806, 378			806, 378					0	3, 163, 033
事	事 業	費合計	計画額	1, 275, 000	1, 275, 000	1, 275, 000	3, 825, 000	991, 000	991, 000	991, 000	2, 973, 000	991, 000	991, 000	991, 000	991, 000	3, 964, 000	10, 762, 000
7			予算計上額	1, 275, 000	1, 275, 000	986, 000	3, 536, 000	991, 000	1, 623, 000	0	2, 614, 000	0	0	0	0	0	6, 150, 000
業			実績額	758, 525	803, 356	794, 774	2, 356, 655	806, 378	0	0	806, 378	0	0	0	0	0	3, 163, 033
費の推		費予算の 内容		消耗品費	報償費 消耗品費 印刷製本費	報償費 消耗品費 印刷製本費			講師謝礼 消耗制費 日本を費 イン委託料 受にポイントアプリ使 健康料 備品購入費								
移	0	度予算と)比較 減理由)		同額	同額	消耗品在庫使用 のため減額			アプリ連入のため導入のたとり事人のたとり事人、のインターのインターの大力を発生した。 横端 大手 アプル 横端 アルス 横端 できる はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか								
	実績の増え	との比較 減理由)		かったため、報 償費の減額	消耗品在庫使用	達成者が少なく 報償費の減額、 消耗品在庫使用 のため減額		達成者が少なく 報償費、消耗品 費の減額									

動指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:参加申	請数		指標の求め方:参	参加申込を申請し	た人数								
果指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:ポイン	ト達成者数		指標の求め方:個	健康ポイント達成	者の人数								
				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	一		第 7
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計
		1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合
ш	活動指標 (単位/.		1,050	1, 100	1, 150		1, 200 903	1, 250	1, 300		1, 350	1, 400	1, 450	1, 500		
指標	成果指標	八根温	905	893 420	877 450		490	520	560		600	640	700	730		
122	00 未 指 信 (単位/		424	.4	462		484	320	300			040	700	730		
	事業の道		12.		102	and the second s										
		標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
	事業のは	^{伐果} 標をもとに評価)				上がっている										
	事業の対															
		に対する成果)				上がっている										
	総合評価	<u> </u>				普通である										
			自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
			事業開始から3 年目を迎え徐々	昨年度に続き、	業実施の制限が解	コロナ禍の影響による、対象事	車業のサナレー									
				止・延期が生じ	除され、ポイント	業の中止・延期 により、周知の	て18歳以上から									
			見られるもの	たため、周知の	付与の機会が回復 したものの。イン	により、周知の	参加可能とし									
			の、コロナ禍に	機会・ホイント 付与の機会が減	ターネット申請の	により、周知の 機会は減水を が、増加・利益 の増か・ が、増加・利益 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 は が、 は が	た。また、健康									
			タ 事業の由止や	りもの機会が減少したが、達成	開始に伴い新規参	か、 達成有制 百の 増加 健診チ	ボイント対象争 業宝施団休の由									
			延期が生じたた	者数については	加有の増加を見込 んでいたが、 構ば	ケット利用率の	請を設け10団体									
評					いとはった。しか		マン 丁 明 ね・ひ) フ									
価			やポイント付与	事業の定着化が	し、達成者割合の	用券の利用率の	た。前年度に比									
内			の機会か減少した 白身の健康	みられる。特定 健診やがん検診	トの利田家でけ	市帯の中華ルギ	100 to 1 /2 まっへ イ									
容		総合評価の判断	づくりの意識づ	受診者中の	86.3%と昨年度同	図られている。	ケットの利用率									
		理由または指標	けや継続意欲と	88.9%の方が健	様高い割合での利	申請方法にイン	は81.1%と高い									
		の実績値に関す	┪なるよう、周知	診チケットを利	の向上には繋がっ	ターネット申請	割合での利用と									
		る自己分析	万法の見直しや	用し、受診率向	ている。自身の健	事業の足が 図になる。 申請方はには タースに りの選択に の選択に かまた。	なり、受診率の									
			がたな対象事業について検討し	る。自身の健康	はかいはいます はいまます はいまます はいままます はいまま はいまま はいまま	新規申請者の増	唐づくりに役									
			ていく必要があ	づくりの意識づけや継続意欲と なることと、 新	増加を図るため、	加を見込み「普	立っている。次									
			る。	けや継続意欲と	運動を継続してい	通である」と判	年度からアプリ									
						断した。	も導人し、課題 としている若者									
				を図るため、周	業を増やす事や、		世代の参加率向									
				知方法の検討が	【アブリの活用も検		上や事務の効率									
				必要である。	討していく必要が ある。		化を図る。									
	今後の方	方向性				現状のまま継続										
				ウイルス感染症の			R8 :			•	R10 :				•	
				り、周知の機会や みはあるものの、			1				1					
				かはめるものの、 (検) 診チケット発			1				1					
			チケット利用率に	は令和3年度87.3%	6、令和4年度88.9	%、体育館利用										
			券利用率は令和3	3年度37.2%、令和	口4年度62.5%とそ	れぞれ増加し、										
	性の判断3			検診の受診率向上												
改善.	、改革の「	内容		いらは、インターネ 選択肢が増え、新												
(R5.	. R8. R10	J)	見込み現状のま		が 一明日 の 年 加り	百られる「「人										
			元込の現仏のよう	よ呼びとした。												
							I									

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	特定健康診査	及び特定保備	建指導事業		事業期間	平成	20年度 ~ -	- 年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業	1-7-2					所管課係	ふれあいセンター健康	増進係
	糖尿病等の生活制を図る。	習慣病有病者・予	備群を減少させ、	早世予防と健康:	- 寿命の延伸、医療 養	費や介護費用 な	など社会保障費の抑	手段 (どのような方法で 実現するのか)	員に追加実施し 性を考え、胃・原 ス症検診も同時	ている。また、特 肺・大腸・前立腺	〒健診の対象外で ・乳がん・子宮頚 制としている。健	ある20~39歳につ がん検診も同時実 診結果については	いても受診できる ■施し、集団健診 は、特定保健指導が	を、心電図、眼底、貧血検3 5体制としている。受診者のではピロリ菌検査やエキノコ 対象者に限らず、経年優良す	ー の利便 コック
対象 (誰・何を対象として いるのか)	特定健康診査の対	村象者となる40~	75歳未満の砂川市	国民健康保険加.	入者及び、20~39歳	えい 砂川市国民	是健康保険加入者	成果 (どのような効果が 得られるのか)		尊が定着し、健診: とにより、生活習 [・]				え主体的に生活の改善に取 ^り	り組む
事業開始時の状況 緯							、今まで市町村が実 て平成23年度までは							指導を実施することが義務 た	寸けされ

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	H: []	6, 236, 000						5, 658, 000	16, 974, 000	5, 658, 000	5, 658, 000	5, 658, 000	5, 658, 000	22, 632, 000	58, 314, 000
			予算計上額	6, 236, 000			17, 668, 000	5, 658, 000	0, 210, 000		10, 871, 000					0	28, 539, 000
			実 績 額	5, 330, 392	5, 404, 334	5, 152, 130	15, 886, 856	5, 043, 583			5, 043, 583					0	20, 930, 439
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投		_	予算計上額				0				0					0	0
入			実績額				0				0					0	0
	その	他	計画額				0	870, 000	,	870, 000	2, 610, 000	870, 000	870, 000	870, 000	870, 000	3, 480, 000	6, 090, 000
2		_	予算計上額				0	870, 000	100,000		1, 570, 000					0	1, 570, 000
れ			実績額			589, 000		551, 000			551, 000					0	1, 140, 000
10	一般則	オ 源 █	計画額	12, 800, 000		12, 800, 000	38, 400, 000	17, 008, 000	,,	17, 008, 000	51, 024, 000	17, 008, 000	17, 008, 000	17, 008, 000	17, 008, 000	68, 032, 000	157, 456, 000
た		_	予算計上額	13, 280, 000		17, 442, 000	46, 190, 000	17, 008, 000	17, 107, 000		34, 205, 000					0	80, 395, 000
-			実績額	10, 863, 269			33, 490, 635	12, 789, 486			12, 789, 486					0	46, 280, 121
争	事業費1	合計		19, 036, 000			57, 108, 000	-		23, 536, 000	70, 608, 000	23, 536, 000	23, 536, 000	23, 536, 000	23, 536, 000	94, 144, 000	221, 860, 000
業		-	予算計上額	19, 516, 000		23, 202, 000	63, 858, 000		23, 110, 000	0	46, 646, 000	0	0	0	0	0	110, 504, 000
			実 績 額	16, 193, 661	16, 165, 899	17, 606, 931	49, 966, 491	18, 384, 069	_	0	18, 384, 069	0	0	0	0	0	68, 350, 560
費の推	事業費予 内容	算の		報償費、通信運	報酬、委託料、 報償費、通信運 搬費、その他	報酬、委託料、 報償費、通信運 搬費、その他		報酬、委託料、 報償費、通信運 搬費、その他	報酬、安託料、 報償費、通信運 搬費、その他								
移	前年度予 の比東 (増減理	交		報酬、職員手 当、共済費及 び、委託単価増 額による委託料 の増額	委託単価増額に よる委託料の増 額	委託単価増額と 計画策定による 委託料の増額		報酬、職員手 当、共済費及 び、委託単価増 額による委託料 の増額	委託料の減額								
	実績との (増減理			ほぼ同額	ほぼ同額	受診数が予定よ りも少なかった ため。		受診数が予定よ りも少なかった ため。									

指標	の推和	多・評価															
活動	指標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:健診受討	沙率		指標の求め方:	受診者数/特定健診	》対象者数×100								
成果	指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:重症化于	予防対象者の割合		指標の求め方:	[症化予防対象者	の人数/健診受診す	5数×100							
					第1次実施	B3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	60. 0	60.0	60. 0		60.0	60. 0	60. 0		60. 0	60. 0	60. 0	60.0		
	指	(単位/%)	実績値	€定48.3暫定42.4	確定52.0暫定44.4	確定55.8暫定51.4		暫定47.4									
	標	成果指標 1 (単位/%)	計画値	40.0	40.0	40.0		39. 0 39. 0	39. 0	39. 0		38.0	38. 0	38. 0	38. 0		
			実績値	37. 2	39. 3	40. 2		39. 0									
		事業の達成度 (活動指標を					あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を:	もとに評価)				変わらない										
		事業の効率性					変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の実	または指標	ル染がを団検日定こが取りに指をき勧が前りな時の気候を食をと自状なつ導行と要因年3つ間の策、施診で食取で身次がい・う。の難度%たで染を集しでの摂り、のをらて栄こ未時で受のたもいで、のをいて栄います。の難度のため、定量れ診分り減保指が診確り率と、診のは、定量れ診分り減保指が診確り率と、診感な診集尿1測た者摂返塩健導で者保、よ 短勧感な診集尿1測た者摂返塩健導で者保、よ 短勧感な診集尿1測た者摂返塩健導で者保、よ 短勧	ル染がを1測実で身況違りつ導行た奨困年率3.な険図 ス対ら実食定施、のをい返い・う。の難度6.7%のたとが感染を、他 塩緩る診分年つ、の養と受間あ定り減たとが感染をしし緩緩る診分年つ、の養と受間あ定り減失されたとが、 現続こ者摂度い、遠保導で者保、受りと、特別のにとが取とて場所である。 保を診感な診定量で 自状の振に指をき勧が犯診 保を診感な診定量で 自状の振に指をき勧が犯診 保を診感な診定量で 自状の振に指をき勧が犯診	ル動れくワ係に診保い点上るに対きら基皮せ指に入制受なクるよ勧がるで昇。、象で、盤陸な導取感限診り予業り奨さたのしそ重者い内と害い・り勢が控、ン務、のれめ受てれ症もる臓しをよ業組の親が互生の過度時で、診舎と化予えと肪管行保指で行さなナに少受確で時もい 防てかを内さ健導い行さなナに少受確で時もい 防てかを内さ健導い	がスの関あ受て新チ増者の難がスの関あ受て新チ増者の難をいいている。ロ種、受確のりいないと大への間のがまたが、する口様で受確ないと、大の間である。日間では、大の間である。日間では、大の影響を使んが、大の影響を使んが、大の影響を使んが、大の影響を使んが、大の影響を使んが、大の影響を使んが、大いいの影響を使んが、大いいいの影響を使んが、大いいいの影響を使んが、大いいいいの影響を使んが、いいいいいいのいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	口高昨状続高にた者強要対者健丁次げ支引予しをよりが低、後保い加契くま受は導してき象内さりが低、後に、ないので指摘がよっているが多い。のて指施診るい重者度せ組に、後保い加契くま受は導しによく症に陸なりが低。後保い加契くま受は導しによく症に陸なりが低。後保い加契くま受は導しによく症に陸ない。とい継期険る入を必た診保を、繋う。化対害いでも、い継期険る入を必た診保を、繋う。化対害いでも、い継期険る入を必た診保を、繋う。化対害いでも、い継期険る入を必た診保を、繋う。化対害いでも、い継期険る入を必た診保を、繋う。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	改善.	今後の方向性 RR 例要 をを 性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		要するものには過をもらい、その後の一般をも現状を正しる。 田して方向性を確認 でいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる は	車絡票を活用してして 参の支援に活用してして くかいらだいの状態を のででいる。 でい。 でいる。 でい	・ 医療機関・ できない はいます できない はいます できない はいまない はい	、医師から指示 活間の改善を指 の後の取りを の健康状態を は いまう、特定健診	R8 :				R10 :					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	生活習慣病ハ	イリスク者優	主診事業		事業期間	平成	25年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施する のか)	心臓病、脳血管症 防ぐ。	夫患、慢性腎臓病	等の血管障害を予	防可能な段階で	・ 発見し、市民の健康	₹増進につなげ	、医療費の高騰を	手段 (どのような方法で 実現するのか)	(インスリン分)	必能)を算出)、	頸部超音波検査		実施する。またふ:	A-R(インスリン抵抗性)やI.I れあいセンターにて微量アルブミ 導を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	国保特定健康診査害を起こす危険性			タボリックシン	ドローム該当者・高	高血圧者・高血	糖者等血管内皮障	(どのような効果が	7- # . o = 1 # 2'					を自覚することができ、生活習慣 医療費適正化、早世予防、障害予
事業開始時の状況緯			、国保ヘルスアッ 病健診事業として!		国保特定健診受診	者のうち重症・	化予防対象者に対	して二次検診を実施	する。令和元年度	度より、歯周病健	診を導入する。令	和3年度の第7期総	総合計画の開始に係	半い、歯周病健診は糖尿病重症化予

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額	494, 000	494, 000	494, 000	1, 482, 000	421, 000	121,000	421, 000	1, 263, 000	421, 000	421, 000	421, 000	421, 000	1, 684, 000	4, 429, 000
		予算計上額	421, 000	421, 000		1, 263, 000	421, 000			791, 000					0	2, 054, 000
		実績額	85, 800	30, 300	23, 550	139, 650	10, 100			10, 100					0	149, 750
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地方	方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入 そ の	の他	計画額				0				0					0	0
*		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ 一般	財源	計画額				0				0					0	0
<i>t</i> =		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
事事業費	費合計_	計画額	494, 000	494, 000	494, 000	1, 482, 000	421, 000	421, 000	421, 000	1, 263, 000	421, 000	421, 000	421, 000	421, 000	1, 684, 000	4, 429, 000
alle		予算計上額	421, 000	421, 000	421, 000	1, 263, 000	421, 000	370, 000	0	791, 000	0	0	0	0	0	2, 054, 000
業		実績額	85, 800	30, 300	23, 550	139, 650	10, 100	0	0	10, 100	0	0	0	0	0	149, 750
費			健診委託料	健診委託料	健診委託料		健診委託料	健診委託料								
事業費	予算の															
の一内																
推																
,E			歯周病健診の委	同額	同額		同額	頸部エコー受診								
移 前年度	マ管 し		託料分を減額	1-3 D.K	1-3 D.R			者の委託料分を								
別年度の比								減額								
(増減:																
			二次検査の受診	二次検査の受診	二次検査の受診		二次検査の受診					İ	Ì			
実績と	の比較		数が予定よりも 少なかったた	数が予定よりも 少なかったた	数が予定よりも 少なかったた		数が予定よりも 少なかったた									
(増減:				少なかったた め。	少なかったに め。		少なかったた め。									
			l .	l	l .		U.	J		l l			J.			

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:二次検査受診率	指標の求め方:二次検査受診数/重症化予防対象者数(治療なし)×100
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:保健指導実施率	指標の求め方:保健指導実施者数/二次検査受診者数×100

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
			ľ	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1	計画値	15. 0		15. 0		15	15	15		15	15	15	15		
	指標	(単位/%)	実績値 計画値	13. 3 100. 0	5. 7 100. 0	3. 4 100. 0		2. 1	100	100		100	100	100	100		
	175	成果指標 1 (単位/%)	計画他 実績値	100.0	100.0	100. 0		100.0	100	100		100	100	100	100		
		事業の達成度	天棋胆	100.0	100.0	100.0		100.0									
		(活動指標をもと	とに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果					変わらない										
		(成果指標をもと	とに評価)				支わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する	5成里)				変わらない										
		総合評価	U/A/A/				普通である										
		松口計画		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				頚部エコー検査	頸部エコー検査	頚部エコー検査	活動指標は達成	頸部エコー検査	66777	1 C J W .	刊刷建田.	B C 77 1/1 .	B C 7 1/1 .	B C 3 1/1 .	B C 77 1/1 .	刊刷建田.	
				を受けた12人	を受けた6人の5	を受けた3人全	できていない	を受けた2人の									
				中、6人 (50.0%)にプ	割にフラークか 発見された メ	貝にフラークか 発見された メ	が、成果指標は達成できた。	うち 人はメダ ボ該当者であっ									
				ラークがあり、	タボの該当がな	タボの該当がな	り、血管障害を	たがプラークは									
				ケの 因メタホ酸	くてもフラーク	くてもフラーク	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	発見されなかっ									
				当ではない4人	所見を有する者	所見を有する者	で発見し、生活	た。また、メタ									
事				全てが、LDLコ	全員に、LDLコ	はLDLコレステ ロールのA 享値	習慣改善の動機 づけにつながっ	ホ非該当の1人									
	評			位であった。メ	中性脂肪が高値	であった。ま	ていることか	見されなかっ									
務	価内			タボだけではな	であった。ま	た、糖負荷試験	ら、普通である										
135	容			く、動脈硬化の	た、糖負荷試験	の実施者は1人	と判断した。	LDLコレステ									
	П	総合評	価の判断	リスクとなる者	の実施者はいな かったが、今後	で、インスリン		ロールが高値で 治療の必要性は									
事		埋田ま	たは指標	にも保健・未養 指道が必要であ	かつにか、今後も必要な方に二	抵抗性か見り れ インスリン		石寮の必要性は ないと判定され									
		る自己を	心に戻り 分析	る。糖負荷検査	次健診を実施	分泌状況に応じ		たが、今後も動									
-114-		010/		は3人受け、1人	し、自身のから			脈硬化を予防す									
業				にインスリン初	だの現状を確認	ための指導を		るために、生活									
				期分泌低下か兄 られ インスリ	し、血管内皮障 害や糖尿病及び	行つに。――次快 杏が 生活習慣		習慣の改善にむ けて保健指導を									
評				ン分泌状況に応	糖尿病性腎症を	改善の動機づけ		実施することが									
				じた糖尿病予防	予防するための	となるよう、今		できた。重症化									
					生活習慣改善の			予防対象者には									
価				行つた。――――――――――――――――――――――――――――――――――――	動機づけとなる	突していく。		積極的に勧奨し 自身の健康状態									
				査が、生活習慣 改善の動機づけ	や栄養指導を丁			を確認できる機									
				となるよう、今	寧に行ってい			会となるよう支									
				後も積極的に勧 奨していく。	< 。			援していく。									
		今後の方向性		英してい 、。			現状のまま継続										
				R5 :				R8 :				R10 :				<u> </u>	
					生活習慣病が自身												
					を、二次健診や簡 もらう。その具体												
					りつう。その具体												
				導・栄養指導をと	とおしてより良い	伏態になれるよう											
	方向性	生の判断理由		要があるため、耳	見状のまま継続と	判断した。											
	改善、	改革の内容															
	(R5.	R8、R10)															
												1					
												1					
												<u> </u>					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	個別保健指導	事業			事業期間	令和	2年度 ~ .	— 年度]					
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施するのか)	栄養の改善、その を図る。	の他生活習慣の改	善等に関する個々の	の相談に応じ、	- 必要な栄養指導、保	健指導を行い	、市民の健康増進	(どのような方法で	本人、家族等から づき、対象者を把 団体での健康相談	2握し保健師、管	理栄養士等の専門	職が、家庭訪問	や市民健康栄養相	機関等の関係機関からの情報に基 淡、随時相談(電話、面接)、各
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	個々の相談に応じ きる。	え、必要な保健指	導を行うことで、	個々人が自身の個	建康管理をできる。	ようになり、健康の保持増進がで
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	令和3年から成人	. • 高齢者訪問指導	事業と健康相談	開催事業を統合し、	個別保健指導	事業として実施。							

[DO]

実績

		第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画				0				0					0	0
予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
道 費計画					90, 000	00,000	90, 000	270, 000	90, 000	90, 000	90, 000	90, 000	360, 000	882, 000
予算計				254, 000	90, 000	,		189, 000					0	443, 000
実績		73, 000	84, 000	241, 000	73, 000			73, 000					0	314, 000
地 方 債 計 画	薊			0				0					0	0
投予算計				0				0					0	0
実績				0				0					0	0
入その他計画				0				0					0	0
予算計				0				0					0	0
美 績				0				0					0	0
れ 一般財源 計画					45, 000	10,000	45, 000		45, 000	45, 000	45, 000	45, 000	180, 000	447, 000
予算計				132, 000	45, 000	,		95, 000					0	227, 000
た実績	, ,,,		· · · · · ·	141, 248	61, 844			61, 844					0	203, 092
事 事業費合計 計 画				384, 000	135, 000	100,000	135, 000	405, 000	135, 000	135, 000	135, 000	135, 000	540, 000	1, 329, 000
予算計			130, 000	386, 000	135, 000	149, 000	0	284, 000	0	0	0	0	0	670, 000
業 実績				382, 248	134, 844	-	0	134, 844	0	0	0	0	0	517, 092
費	会計年度任用	战 会計年度任用職員報酬	会計年度任用職員報酬		会計年度任用職 員報酬	会計年度任用職 員報酬								
事業費予算の	貝報師	貝羊区的	貝報師		貝和町	貝和的								
の内容														
推														
7I±	成人・高齢者	日類	道の補助予定額		会計年度任用職	全計在度任田 聯								
移	問指導事業と		が増えた											
前年度予算との比較	康相談開催事	É			る増額	る増額								
(増減理由)	を統合したたる新たな予算と													
	あたな ア 昇 こ が	*												
	ほぼ同額	ほぼ同額	ほぼ同額		ほぼ同額									
実績との比較														
(増減理由)														
		1	1	·	Ш	1		l .						

		(「手段」を			集わる専門職の人		指標の求め方:例					hart to av 7 o like		* 中京 計明 6.77 ·	> 1 #45		
灰果	指標1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:個別保健	指導、栄養指導を発		指標の氷の方:個	11別回接、電話相			ノ、町内会、特定	健康相談、その他					I
				第 1 年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	3次実施4カ年計 第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標1 (単位/人)	計画値実績値	14 14		14 14		14 14	14	14	4	14	14	14	14		
	標	成果指標 1	計画値	3, 100	3, 100	3, 100		3, 100	3, 100	3, 100	0	3, 100	3, 100	3, 100	3, 100		
		(単位/人)	大根心	1, 872	1, 941	2, 113		2, 055									
		事業の達成 (活動指標?	度 をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標?	きもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率	性 対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理の	由またけ指揮	子大が問たまウ大民や町相れ減今や増よが問たまウ大民や町相れ減今や増よいては、大大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大	ル制れ訪がしワ業時でいナりあ今や増よる和よ談。コ種業とのが、施状 問題なりに関係していまれる。 のは、カケに関いていまが、一般では、カケに関いていまが、一般では、カケに関いていまが、一般では、カケに関いていまが、一般では、カケに関いていまが、一般では、カケに関いています。 しょう しゅうしゅう しゅうしつ はいました しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	チ業り確件まナ症限町ラ数今のし奨診訪老、保数たウにが内づも後時、試験問人と解析の、クを持ち、インを持ち、インを持ち、インを持ち、インをはいるが、イよ緩会の増も間健間の、ク重間では、インをでは、大きなのでは、大きないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないでは、からないではないでは、からないではないがは、からないではないではないではないではないではないではないではないがではないがではない	れ回 動 が 動 が ち 中 力 力 対 お ち も り で り ま も も り の い 数 は は も も り の い 間 は は は も に し に し に し に に し に に に に に に に に に に に に に	で健や相栄数るつ診滅りのた養はし相て市談の計談養が。いのお結相。相来て談い民のい診特談養が。いのお結相。相来て談い民のが果健市談少定は診こ説者民に者るをる康容が果健市談少定は診こ説者民に者るをる康容が果健大学を特明健健実て診団がに会滅康い定新やう養検をはいた、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	性	DE .			現状のまま継続	D0 .				D10 .					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			クラブの実施回数 コロナワクチン技 計年度職員や管理	数が増え健康相談 妾種事業に大幅に	限も緩和され、町 数が増えると見 を 業務時なが間を 登か問時 継続していく。	.んだ。また新型 れているが、会	ко :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	糖尿病重症化	予防のための	歯周病健診事	業	事業期間	平成	31年度 ~ -	- 年度				•	
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業			 		所管課係	ふれあいセンター健康増進係
(刊のために美施する	よる慢性の炎症が	あることで、血糖?	キコントロールする	インスリンの働き	・ 「「齢者においてもフレ につながり、結果強 を妨げるたんぱく質 を機能の維持や糖尿症	が増えることか	りに重要である。特に べる。また、歯周病に べわかっており、糖尿 いげていく。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	特定健診受診後歯周病健診は砂り		,て、二次検査とし	ノて受診票を発行	し、歯周病健診を勧奨する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	特定健診受診者	(情報提供含む)	でHbA1c6.5%以上。	の者(糖尿病管	理台帳の対象者)			成果 (どのような効果が 得られるのか)	高血糖者の歯周症により医療費抑制		ことで、糖尿病の)重症化予防を図	る。また、重症化を予防すること
事業開始時の状況	・これまでの経												

[DO]

実績

				第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	60, 000	60, 000	84, 000	204, 000				0					0	204, 000
		予算計上額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000				0					0	180, 000
		実 績 額	15, 000	30, 000	9, 000	54, 000				0					0	54, 000
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
40	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
入		実 績 額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
れ		実 績 額				0				0					0	0
16	一般財源	計画額				0	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	240, 000	420, 000
<i>t</i> =		予算計上額				0	60, 000	60, 000		120, 000					0	120, 000
		実 績 額				0	3, 000			3, 000					0	3, 000
事	事業費合計	計画額	60, 000	60, 000	84, 000	204, 000	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	240, 000	624, 000
業		予算計上額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	60, 000	60, 000	0	120, 000	0	0	0	0	0	300, 000
_		実 績 額	15, 000	30,000	9, 000	54, 000	3, 000	v	0	3, 000	0	0	0	0	0	57, 000
費			健診委託料	健診委託料	健診委託料		健診委託料	健診委託料								
の推	事業費予算の 内容															
移	前年度予算と の比較 (増減理由)		-	同額	同額		同額	同額								
	実績との比較 (増減理由)		受診数が予定よ りも少なかった ため。	受診数が予定よ りも少なかった ため。	受診数が予定よ りも少なかった ため。		受診数が予定よ りも少なかった ため。									

推	標の推	移・評価	i .														
汪	動指標	1 (「手具	殳」をもとに設定)	指標名:受診率			指標の求め方: 歯	歯周病健診受診数	/糖尿病管理台帳の	D人数(HbA1c6.5	%以上)×100						
成	果指標	1 (「成身	具」をもとに設定)	指標名:糖尿病:	コントロール良好	者の割合	指標の求め方:H	bA1c6.5未満の人	数/糖尿病管理台帧	長の人数×100							
Ī					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指		3. 0	. 4			3. 5	3. 5	3. 5		4. 0	4. 0	4. 0	4. 0		
	指標	(単位	入根距	3. 3	5. 6	1.5		0.5	22.0	20.0		27.0	07.0	07.0	07.0		
	行示	成果指 (単位		25. 0 31. 1	25. 0 35. 1	25. 0 32. 5		26. 0 31. 3	26. 0	26. 0		27. 0	27. 0	27. 0	27. 0		
		_	達成度	31.1	33. 1	32. 3		01.0									
			指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の	成果 指標をもとに評価)				上がっている										
		_	効率性														
			費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評	価				良好である										
the total state	事務事業評価		総合評価の判断 理由または指 の実績値に関す る自己分析	な未ししはな員のたポに3いは口なめ定方で診入、た、いに喪。ケあんた、一関、期にで診入、健処の均歯たト、見歯糖とに治診極動に受診を歯、8を歯全血ル係未空を治療の4の者が終電の4が、は出り周コもあ療の的に対験が影響の4を強を強し、場に決している。	や受ししは人長あでたトリに周癇をした、大りあれ、長りあ、は、見病間が診置ある(8.6 また、は、見病はのは、関連のは、は、見らは、関連のは、は、関係は、は、関係は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	な診診し診人な健処本は均たポに入た血ル係ど者のた者のか診歯あ3/7。ケあり、贈りる時間が、多の。果は、に本たト、見周ン密る料間動歯分。 はし喪めで、は出病ト程とにがない。 はは、裏がで、は出病ト程とにがない。 はいればいない。 はいればいない。 はいまが、よいは、こればいない。 はいまが、よいは、こればいない。 はいまが、よいは、こればいない。 はいまが、よいは、こればいる。 はいまが、よいは、こればいる。 はいまが、よいは、こればいる。 はいまが、よいは、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、これが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまが、これが、こればいる。 はいまが、こればいる。 はいまがいる はいまがらいる はいまがらいまがらいる。 はいまがらいる はいまがらいる はいまがらいる はいまがらいる はいまがらいる はいまがらいる はいまがらいまがらいまがらいまがらいまがらいまがらいまがらいまがらいまがらいまがら	り良好像をはない。	な診診し診人な健失周らのはた血を診診し診人な健失周らのはた角のた結本のた結本がた況ら歯コを持ち、多の・果本ッがでれ周ント、はな病トト、はな病トト、はな病トト、はな病・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	_ 方向性				現状のまま継続										
				R5 :				R8 :			ll .	R10 :					
	改善	列性の判 圏 手、改革の 5、R8、R	D内容	とにもつながるが 機会が持てるよう	ため、歯科医院で う、今後も歯科未	糖コントロール状 の必要な治療や歯 治療者や定期受診 必要があると考え	科指導を受ける のない方に、事										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	後期高齢者側	康診査受託事	業		事業期間	平成	:20年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	1-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	ふれあいセンター健康増進係
目的 (何のために実施する のか)	糖尿病等の生活を	習慣病の予防と早	期発見を図り、も	って後期高齢者の	の健康の保持増進に	寄与する。		(どのような方法で実現するのか)	できる集団検診で 集団健診はJA北海 た団体が実施。傾	の体制とする。申述 道厚生連、北海道対 診内容は基本項目	込みはふれあいセン 対がん協会に委託。 (身体計測・血圧・	ンター、個別健診は 健診結果通知はふ ・診察・脂質・肝機	空知医師会砂川部会 れあいセンターから 能・血糖・尿検査)	できる体制とがん検診と同時に受診 に乗託し、市内5 医療機関で実施。 行うが、集団健診については委託し に砂川市独自の検査項目(貧血・腎 にて、保健指導にもつなげていく。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	後期高齢者医療保	呆険加入者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	糖尿病等の生活	習慣病の予防と早	期発見を図り、も	って後期高齢者 <i>0</i>)健康の保持増進[に寄与する。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	後期高齢者の健調 平成24年度まで	診については、北海 生活機能評価を同時	毎道後期高齢者 時実施していたが	医療制度が創設され 医療広域連合の事業 バ、25年度には廃止 より委託を受けて、	となり、各市とした。また	町村は北海道後期間 国保特定健診から網	弱齢者医療広域連合 ≚続した健康管理が	の受託を受けてできるよう健診	後期高齢者の健診 項目の見直しを行	を行うこととなっ った。	t:.		

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
地	方債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入そ	の他	計画額	3, 330, 000	3, 330, 000	3, 330, 000	9, 990, 000	4, 162, 000	4, 162, 000	4, 162, 000	12, 486, 000	4, 162, 000	4, 162, 000	4, 162, 000	4, 162, 000	16, 648, 000	39, 124, 000
₹ l		予算計上額	3, 330, 000	3, 599, 000	4, 000, 000	10, 929, 000	4, 102, 000	4, 260, 000		8, 362, 000					0	19, 291, 000
		実績額	3, 074, 314	3, 587, 046	3, 508, 338	10, 169, 698	3, 728, 370			3, 728, 370					0	13, 898, 068
れ -	般 財 源	計画額	95, 000	95, 000	95, 000	285, 000	179, 000	179, 000	179, 000	537, 000	179, 000	179, 000	179, 000	179, 000	716, 000	1, 538, 000
,		予算計上額	95, 000	144, 000	216, 000	455, 000	239, 000	154, 000		393, 000					0	848, 000
た		実績額	71, 473	141, 994	202, 352	415, 819	-45, 963			-45, 963					0	369, 856
事事	業費合計	計画額	3, 425, 000	3, 425, 000	3, 425, 000	10, 275, 000	4, 341, 000	4, 341, 000	4, 341, 000	13, 023, 000	4, 341, 000	4, 341, 000	4, 341, 000	4, 341, 000	17, 364, 000	40, 662, 000
		予算計上額	3, 425, 000	3, 743, 000	4, 216, 000	11, 384, 000	4, 341, 000	4, 414, 000	0	8, 755, 000	0	0	0	0	0	20, 139, 000
業		実績額	3, 145, 787	3, 729, 040	3, 710, 690	10, 585, 517	3, 682, 407	0	0	3, 682, 407	0	0	0	0	0	14, 267, 924
費				委託料 消耗品費	委託料 消耗品費		委託料 消耗品費	委託料 消耗品費								
	業費予算の			通信運搬費	通信運搬費		月代印度 通信運搬費	通信運搬費								
0	内容															
推																
)E			集団健診による	季託機関の単価	健診受診博を目		健診受診増を見	健診受診博を目								
移	左座又答し		受診増を見込み	の増額により予	込み増額とし		込み増額とし	込み増額とし								
	年度予算との比較		増額とした。	算増となった。	た。		た。	<i>t</i> = 。								
	増減理由)															
			新型コロナワク	集団健診の受診	健診対象者数が		健診実施機関が									
実	績との比較		チン接種実施のため集団健診が	数が増え増額と	減り昨年より受 診数が減少し		減り、昨年より 受診数が減少し									
	増減理由)		実施できず受診	ゆりた。	診数が減少し た。		文形数が減少した。									
			数が減少した。				-									
							<u>II</u>			l	l					

活重	指標 1	(「手段	」をもとに設定)	指標名:健診受討	诊率		指標の求め方:例	₫診受診者数/健診	於対象者×100								
成果	指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:重症化于	予防対象者の割合		指標の求め方:動	[症化予防対象者	の人数/健診受診	者数×100							
					第1次実施	13力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年記	+画		/r → ₩0
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指	標 1 計画値	11.0	11.0	11. 0		13. 0	13. 0	13. 0		13. 0	13. 0	13. 0	13. 0		
	指	(単位)	/%) 実績値	11. 55	13. 65	13.89		12. 63									
	標	成果指		20. 0	20.0	20. 0		20. 0	20. 0	20.0		20.0	20. 0	20. 0	20. 0		
		(単位)	/%) 実績値	15. 4	18.8	14. 7		16. 5									
		事業の (活動指	達成度 指標をもとに評価)				達成されている										
		事業のは	成果 á標をもとに評価)				上がっている										
		事業の	効率性				上がっている										
		総合評	iに対する成果) 価				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	にる険者行診ずいしはがめ診て必まの象指生動なる達。か医し継つるか前つ、率検要を重者等習能とし年で引向討が優先の責命を選供されて、選いのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	実健事び健期険健意増と続に検まの象指生動なる高のな施診でで、康高に診臓え考き向討た重者導活機いと齢度なでき実診ま険者行継持きる診てて診化員実慣がうも医費いる施率をか医し続つて。率対い受予に施病低支に療削取ら無なが国ら療です方いひ向策く診防保しや下援後保減削収した伸民後保もるがるき上を。者対健、運しす期険と組団た伸民後保もるがるき上を。者対健、運しす期険と組団た伸民後保もるがるき上を。者対健、運しす期険と組	し率こしも希希別たで数しあ齢のめか症にこる高た増とか多望望健方、を生でる者に終しまといるでいて予集が添にい団やくま健を国続防し必のでいて予集が添にい団やくま健を国続防し必のないをといるでいるのは、総予援があいて、後にはりずなの診対要、状でのに象いで、後にはいるのでは、はいいのではないのでは、はいいのではいいので	国ら療です方る診高いを数がたし民健頻険健意増ま同者も催増き良。健期陰健意増ま同者も催増き良。にいまれた様健集しやた好保齢移ををて持に診団、す。ととくは、するとは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	が、定員以上の 予約があり、市 内の健診医療機 関につなげる	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の	方向性				拡大										
	改善、	性の判断 、改革の 、R8、R1	内容	達成のために健康 した。また国民化 し、後期高齢者に 後も支援している 防を図るために、	诊体制を整備する 健康保険加入時間 にないのである。 はいるのではいるののでする。 はいるのではいる。 はいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるのではいる。 はいるのではいるではいる。 はいるのではいるではいる。 はいるのではいるではいる。 はいるのではいるではいるではいる。 はいるのではいるではいるではいる。 はいるのではいるではいるではいるではいる。 はいるのではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいる	13.3%に近づいてしことが必要を必要である保めである保めである保めである時間を発達を受けませます。 おいま はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	ため拡大と判断 使指できるよう を を を を を を を を を を を を を を を る よ う の 重 症 で り を り を り を り を り を り を り を り を り を り	R8 :				R10 :					